

独立行政法人酒類総合研究所契約監視委員会

平成 26 年度第 2 回定例会議審議概要

開催日時	平成 26 年 11 月 28 日（金）13：30～16：00	
開催場所	独立行政法人酒類総合研究所 広島事務所 2 階 特別セミナー室	
委員名簿	委員長 椿本雅朗（研究所監事 公認会計士） 委員 瀧 敦 弘（広島大学経済学部長） 委員 田 邊 尚（田邊尚法律事務所 弁護士） 委員 沼野伸生（研究所監事） 委員 二村博司（広島大学大学院社会科学部研究科教授）	
研究所出席者名簿	総務課長 永田 武 研究企画知財部門長 山岡 洋 総務係長 小迫孝雄 会計係長 太田 知	
審議事項	平成 26 年度上半期の契約内容の審議	
抽出案件（内訳）	32 件	（案件の審議） 左記の抽出案件について審議を行った。
競争性のない随意契約	3 件	
競争性のある随意契約	0 件	
一者応札	11 件	
その他	18 件	
委員会からの意見の具申等	特になし。	
平成 26 年度上半期の契約内容の審議（競争性のない随意契約）		
契約件名	意見・質問	回答等
上下水道供給業務 （広島事務所）	条件等から供給可能な者が一者しかおらず、競争性のない随意契約としてはやむを得ないことから、見直し点はない。	
液化石油ガス供給業務	条件等から供給可能な者が一者しかおらず、競争性のない随意契約としてはやむを得ないことから、見直し点はない。	
SciVerse®Scopus® の利用一式	引き続き利用実績等を踏まえて、効果的・効率的な業者がないか更に検討する。	意見を踏まえ、利用実績を検証し、効果的、効率的な業者がないか更に検討する。

平成 26 年度上半期の契約内容の審議（競争性のある随意契約）		
契約件名	意見・質問	回答等
該当なし		
平成 26 年度上半期の契約内容の審議（一者応札・応募契約）		
契約件名	意見・質問	回答等
平成 26 年度 液体クロマトグラフ質量分析装置の保守管理業務	メーカーから包括的に委託された業者が専門的な物品の保守管理を行うことは一般的であることから、一者応札はやむを得ない。	入札参加に繋がるよう、引き続き幅広く情報提供等を行う。
平成 26 年度 加熱脱着装置付GC/MSDの保守管理業務	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことが一般的であることから、一者応札はやむを得ない。	入札参加に繋がるよう、引き続き幅広く情報提供等を行う。
平成 26 年度 DN Aシーケンサーの保守管理業務	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことが一般的であることから、一者応札はやむを得ない。	入札参加に繋がるよう、引き続き幅広く情報提供等を行う。
平成 26 年度 飛行時間型質量分析装置の保守管理業務	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことが一般的であることから、一者応札はやむを得ない。	入札参加に繋がるよう、引き続き幅広く情報提供等を行う。
平成 26 年度 東京事務所で使用する電気の調達	条件等から供給可能な者が限定的であるが、電力需給の情勢は改善しつつあり、引き続き情報提供を行っていく。	意見を踏まえ、引き続き幅広く情報提供等を行う。
平成 26 年度 情報システムの運用及び管理業務	業務内容を十分に把握した上で、運用及び管理業務全体を更に見直し、引き続き効率的な契約方法を検討する。	意見を踏まえ、業務内容を十分に把握し、契約方法等の更なる見直しを検討する。
平成 26 年度 複合機の保守業務	納入業者が保守を行うことが一般的であることから、一者応札もやむを得ないが、次回の複合機の更新の際には、保守を含む複数年契約やリース契約など、契約方法の変更により一者応札の改善に努める。	意見を踏まえ、次回の機器更新の際、契約方法の見直しを検討する。
平成 26 年度 安定同位体比質量分析システム保守管理業務	専門的な物品であり、また、納入業者が保守を行うことが一般的であることから、一者応札はやむを得ない。	入札参加に繋がるよう、引き続き幅広く情報提供等を行う。

管理棟2階 実験室 及び講義室のレイアウト変更工事	専門的な工事を含んでおり、施工業者が限られていることから、一者応札はやむを得ない。	
衡量法校正装置の移転業務	専門的な物品であり、また、移設業者が限られることから、一者応札はやむを得ない。	
ヘッドスペース試料導入付ガスクロマトグラフ分析装置の調達	専門的な物品であり、また、納入業者が限られることから、一者応札はやむを得ない。	
平成26年度上半期の契約内容の審議（一者応札・応募契約以外）		
契約件名	意見・質問	回答等
平成26年度 超純水製造システム年間保守業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成26年度 建物等の総合監視、日常点検及び保守業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。 ただし、次年度以降も一者とならないよう業者への情報提供を行い、競争性の確保に努める必要がある。	意見を踏まえ、引続き業者に対して情報提供を行い、競争性の確保に努める。
平成26年度 特殊ガス等の調達	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成26年度 酒造好適米試験栽培業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成26年度 建物等の定期点検、保守及び衛生維持管理業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成26年度 損害保険(火災)の付保	複数応札となっており、適正な契約が行われている。 ただし、次年度以降も一者とならないよう業者への情報提供を行い、競争性の確保に努める必要がある。	意見を踏まえ、引続き業者に対して情報提供を行い、競争性の確保に努める。

平成 26 年度及び平成 27 年度 インターネット接続サービス業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成 25 酒造年度 全国新酒鑑評会製造技術研究会運営業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。 ただし、次年度以降も一者とならないよう業者への情報提供を行い、競争性の確保に努める必要がある。	意見を踏まえ、引続き業者に対して情報提供を行い、競争性の確保に努める。
平成 26 年度 緑地維持管理業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
清酒のアルコール及びエキスの炭素安定同位体比分析業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成 26 年度 東京事務所の清掃業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。 ただし、落札率が低いため、履行状況を適宜検証するとともに、契約不履行とならないよう配意する。	意見を踏まえ、業務の履行状況を適宜検証していく。
平成 26 年度 広島事務所の清掃業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。 ただし、落札率が低いため、履行状況を適宜検証するとともに、契約不履行とならないよう配意する。	意見を踏まえ、業務の履行状況を適宜検証していく。
平成 26 年度 排水処理施設の保守業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。 ただし、落札率が低いため、履行状況を適宜検証するとともに、契約不履行とならないよう配意する。	意見を踏まえ、業務の履行状況を適宜検証していく。
原子吸光光度計の調達	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
振動式密度比重計の調達	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
ガスクロマトグラフ分析装置の調達	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	

酒類中の真菌叢に関する網羅的解析業務	複数応札となっており、適正な契約が行われている。	
平成 26 年度上半期の契約内容の審議（その他）		
契約件名	意見・質問	回 答 等
独立行政法人酒類総合研究所広島事務所で使用する電気の調達一式(複数年契約)	特に意見なし。	
<p>《総括意見》</p> <p>相当の年数を経過した複数の機器等があり、今後は経年劣化等による機器等の更新が増加すると考えられるため、より競争性を確保する観点から、計画的な調達に努める必要がある。</p>		